

学校だより
4月号

それゆけ三中

令和2年 4月9日
足利市立第三中学校
生徒数：199名
発行者：高木秀和

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

新学期、生徒も先生方も、心機一転「頑張るぞ」という気持ちでいっぱい
の季節を迎えました。子どもたちは、春休み中大きな事件・事故に巻き込ま
れることなく元気に登校してくれました。子どもたちの始業式・入学式に参
加する表情から、「よし、がんばるぞ!」という意気込みやエネルギーを、ひ
しひしと感じました。「チーム三中」という船は、また、新たな一年間の航海
に出発します。この航海で相手を思いやり、力合わせて頑張る「一人はみんなのために、みんなは
一人のために」を合言葉に、固い絆で結ばれた強固な船となっていきたいと思ひます。

学校の主役は、生徒です。そのために、「学校は楽しいところであってほならない。今日も学校
へ来てよかったと思えるところであってほならない。」と思ひます。

今年度は1年生65名、2年生60名、3年生74名の全校生徒199名です。

※新型コロナウイルス対応につきましては、別紙プリントにてお知らせしましたが、今後も、状況に
応じて迅速な情報提供や対応を心がけていきます。新学期スタート早々の臨時休校に、生徒も教職員も、
仕方ないこととはいえ残念な思ひは止みません。ただ、このようなときだからこそ、普段では見えてこ
ないことに気づくこともあります。学校としてのとるべき道や、より生徒のためには何が必要なのか、
どうすればいいのか等、既に、教職員の中では会議や検討会を超えたところで、熱心に意見を交わす場
面が見られています。学校再開に向け、臨時休校中の家庭学習、メンタル・サポート等、今後も生徒一
人一人を中心に据え教育活動を進めて参ります。この危機的状況を、生徒、保護者の皆様、地域の方々
のアイデアやご協力をいただきながら乗り越えていければと考えていますのでよろしくお願いいたし
ます。

◇学校経営方針

私は、本校の教育活動を通して、生徒や教職員、保護者や地域の皆様と信頼関係の絆を結びなが
ら、互いの存在が活き、互いに感謝し合い、互いに支え合う関係を一層築いていきたいと思ひてい
ます。

【めざす学校像】

- 1) 生徒にとって自信と安心をもたせてくれる学校
- 2) 保護者にとって安心して我が子を任せられる学校
- 3) 教職員にとって、主体的に研修・研究に励み、支え合う仲間のいる学校

教育は、学校・家庭・地域みんなで創り上げていくものと考えています。そしていつでも保護者
や地域の皆様がもう一度足を運びたいと思ひいただける学校でありたいと思ひています。ご指導
ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



□令和2年度教職員定期異動のお知らせ

お世話になりました

ご退職
協和中へ
西中へ
西中へ
毛野中へ
佐野南中へ
第一中へ
山辺中へ

よろしくお願いします

新任校長 西中より
教務主任 協和中より
先生 田沼東中より
先生 第一中より
先生 第三中より
先生 第一中より
先生 南小より
先生 山辺中より
先生 新規給食配膳員

学校教育目標】



より確かに
より豊かに
より遅しく
* 合い言葉

自己啓発に努め、創造的な知性を育てる。
豊かな情操と道徳性を育てる。
生命を尊重し、遅しい気力と体力を育てる。
学力アップ やさしさアップ 元気アップ

〈知〉
〈徳〉
〈体〉

◇今年度の職員組織 よろしくお申し込みします！

校長
教頭
教務主任

1 学年主任

1 組担任(主)

2 組担任

副担任

養護教諭(保健主事)

児童生徒相談員

スクールカウンセラー

2 学年主任

1 組担任(副主)

2 組担任

特別支援 2 組担任(特)

児童生徒相談員

非常勤(美術)

初任者指導

3 学年主任

1 組担任(副主任・生徒指導)

2 組担任

3 組担任

特別支援 1 組担任

副担任(進路指導)

A L T

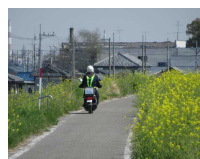
事務主事

事務員

技能員

給食配食員

給食配食員



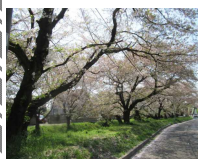
□始業式 『花信風』(かしんふう) ～花を信じる風～

『チーム三中』、『温かい言葉』この2つを柱に、この第三中学校をより絆のつよい、居心地のよい学校にしていきたいと願い、『花信風』の話をしました。

【抜粋】

『花信風』という言葉があります。「花」を「信」じる「風」と書きます。中国から伝わった言葉です。今の時期になると風が強まり、木々の葉を揺らし、枝を揺らし、幹を揺らし、その震動が根っこに伝わります。すると、その震動で土の中に眠っていた虫たちは、「ああ春が来たんだな」と気付いて、ごそごそと這い出してきます。春の訪れを感じさせてくれる風、「花」を「信」じる「風」と書いて「花信風」。素敵な言葉です。この1年ぜひ、皆さんのまわりでもそんな風を吹かせてほしいと願います。

★落ち込んでいる人には、励ますようにそっと。★悩んでいる人には、優しく付き添うように。★ちょっと調子に乗って人を傷つけている人には、たしなめるように強く。いろんな風の吹かせ方で、周りの人を支え、幸せにしてあげてください。皆さんの周りをあたたかい空気で包んでほしいのです。どんな人でも、誰でも、誰かの「花信風」になれると思います。



□入学式 「考えない言葉」から「考えた言葉」への脱却

『チーム三中』、『一人はみんなのために みんなは一人のために』を合言葉に頑張っていること、チームとして大切な、『思い寄り添うこと』を伝えたくお話ししました。

【抜粋】

「考えた言葉」とは何か。かつて、私が先輩の先生から聞いた、ある少年のお話をします。彼は、サッカー部で、部員も少なかったため、1年生のときからゴールキーパーを任されていた。1年生の終わり頃、「今度入ってくる新入生の中に、市内でも有名なゴールキーパーがいて、サッカー部に入るらしい」という噂が立ち、やがてそれが本当だとわかりました。彼は、「キーパーの座を奪われたらどうしよう、」と思い悩みました。彼は、レギュラーから外れられる不安から逃げたくなり、サッカー部をやめようかと考えました。そして、同じサッカー部の友人に相談しました。「やめたいと思ってんだ。」という彼の言葉に、その友人は、しばらく黙っていました。友人は何分間か考えていました。そして、ゆっくり言いました。「部活って、レギュラーになるためだけにやってるのかなあ。それだけのためにやってるわけではないんじゃないのかなあ。」と。友人が返してくれた言葉は、それだけでした。しかし、彼は、この言葉によって支えられ、その後もサッカーを続けることができたそうです。「考えた言葉」、それは、相手を受け止め、寄り添いながら、自分の思いを伝えていくことです。「考えた言葉」には、気持ちののりうつり、大きなエネルギーを宿して、いつまでも消えることはありません。そして、「考えた言葉」は、言った自分も、相手もあたたかくします。ですから、もし、皆さんが今までに「無理」、「だるい」、「うざい」など、相手との会話を即座に絶ってしまうような、「考えない言葉」を使っていたのなら、「考えた言葉」へと脱却していってください。相手の気持ちに寄り添い、よく考え、意志のある言葉を使える人になって、『チーム三中』を支えてください。